

関常幸 議会報告

第17号
2010.1

発行責任者
南魚沼市議会議員 関 常幸
南魚沼市浦佐2015番地
TEL 025-777-2245



新年明けましておめでとうございます

今年もよろしくお願いたします

お おだやかで、平穏な一年であるようにと「毘沙門天」に祈り、2010年の新年を毘沙門堂で迎えた。堂内は多くの二年参りで混雑しているが、毘沙門天を正面に内陣に座ると、凜とした雰囲気は漂い外の騒音は耳に入らない。毘沙門様と相向かうこと十数分、歳取りの御神酒が入っているせいではないと思うが、毘沙門様からの声が聞こえた。“景気の回復は地にある”

“「人」動く時「天」は「地」動”と……。 (人様任せでなく、自ら動かなければ活路は無いの意味)

め めでたく盛会のうちに終わったNHK大河ドラマ「天地人」。大河ドラマ効果で多くの観光客が当市を訪れた。一番の収穫は、私たち市民が戦国の武将「直江兼続公」を知り学び、故郷の英雄を多くの市民が誇りに思ったことではないだろうか……。 “義と愛の教え” “義と愛の生き方” を南魚沼市の「心棒」にしよう。そして、1560年生まれ幼名・与六「直江兼続」を、南魚沼市の「名誉市民」にする。

で でっぱりが目立つ腹回り。暮れも押し迫った12/26大和病院健友館で人間ドックを受ける。あなたは「メタボリックシンドロームの要因が複数あり、特定保健指導の対象です」と言い渡され、午後から居残り看護婦さんから個人指導を受ける。2010年の目標腹回り88cm(マイナス4cm)体重73kg(マイナス5kg)アルコール、飲食は腹7分に、体重、血圧を図る。もう3日坊主になっている。健康あつての人生だ。

と 虎年・2010年は、とうちゃん復権の年だ。今東京では、甲冑を着た花婿さんがブームと言う。その心は、花嫁さん「強い男、強い父ちゃんであって欲しい」と言う願望かららしい。そして、我が子を子育てで「ガツン!」としかる「父親・家庭」であって欲しい。

う うれしそうなこやかな顔を見ると、幸せをもらった気分になるから不思議だ。笑顔は何事にもまさる宝だ。そして家庭円満が何よりも大切。2010年のキーワードは「笑顔」……。

12月定例議会～若井新議長のもとで、市長と白熱した議論を!

先の十一月六日の臨時議会で、議長に若井達男氏を選出し、改選後初めての議会が八日～十八日までの会期で開催される。私も総務文教委員長としての初議会だ。委員長として発言の機会が多く、緊張の日々であった。

●八日初日は、市長の所信表明および行政報告の後、一般会計・各特別会計の補正予算の審議。そして、各請願・陳情は、各委員会に付託。初日最後の議案に議会発議で「地域医療対策調査特別委員会」が設置される。

●十四～十六日と一般質問。二十人の議員が市長と激論を戦わす。主な質問は「子育て、雇用、野球場、財政、教育、農業、病院、福祉、次年度方針、コミュニティ等々」と多岐にわたる。

●十八日最終日、特別委員会の正副委員長の選任を行なう。次に各委員長が委員会に負託された請願・陳情の案件を報告し審議する。六件の発議は、それぞれ提出者(議員)より、提案理由の説明があり審議に入る。後期高齢者、所得税法、日米FTAの三件は、賛成反対の討論のうえ原案の否決。

●議会終了後「病院事業の地方公営企業法全部適用」について、議会全員協議会が開催され説明を受ける。

一般質問 (12月16日)

●新年度予算編成の基本的な考え方

および重点施策について

54年間続いた自民党政権から民主党政権に変わり3ヶ月が過ぎようとしており、外交・内政とも大きく揺れ動いている。一方日本経済は、来年の3月には2番底が来るといわれ、デフレスパイラルに陥ると予測されている。

このように、今まで経験したことのない政治・経済・社会情勢のなかで、新年度の予算編成がスタートしている。予算編成の基本方針については、同僚議員の質門でほぼ答弁いただいた。重点施策は雇用対策・子育て環境の充実・教育環境の充実・コミュニティ活動の推進・財政の健全化の5項目と答弁した。

その予算編成基本方針の職員への周知方法、どのような手順・方法で、予算を編成するのか市長に伺う。また、例えば教育関係であれば、不登校や学力の面でなかなか成果が見えない。福祉でも受診率が上がらない。雇用対策しかりだ。成果を上げるには「若者、よそ者、バカ者」の意見や考えが大切と言われているが、予算編成にそうゆう視点や若手を導入する事が必要ではないか。

★市長

予算の編成方針や大项目的な部分は、庁内ラン等で全職員に周知させている。係長を中心に部や課で予算を組む。例年3～5億円予算オーバーする。最初に財政課でヒヤリングし。その後市長査定で決定する。

若い職員が予算編成に係わることは、大切なことなので検討する。(よそ者～他の課の職員のこと。バカ者～職員に存在しないが、世間一般的に優秀と言われない職員等…)

●次期水田農業施策(生産調整)について

今世界は、地球温暖化や異常気象、人口増加等により食糧需給は不安定な状況にある。我が国は世界最大の農産物輸入国であり、食糧自給率は40%と主要先進国で最低の水準だ。

去る12月12日に、前大和農協組合長・田辺克爾氏の、「旭日中綬章」祝賀会が行われ、新潟県はもとより全国から農業・政界の重鎮300名がお祝いに集まった。大勢の人と会う中で、「農は国の基」「農衰退する時国滅びる」と強く思った。

政権が変わり農業政策も大きく変わった。その施策は「米戸別所得補償モデル事業」と「水田利活用自給力向上事業」だ。

この事については、初日の同僚議員の一般質問「南魚沼市稲作のあるべき姿」で、我々農家は、どう選択すればよいのか、の問いに答弁しているが、再度視点を変えて伺う。

その二つの施策は、当市の水田農業にどのように影響するのか市長の見解をうかがう。

①現状での二つの施策に対応できる農家数②生産調整への参加は③米価への影響は④農家所得は。

そして、米余りが通常化し、米価が下がるのは確実だ。行政も米を販売しなくてはならないが。

★市長

管内の6割を占める調整水田が生産調整にカウントできないとなると大混乱だ。

(調整水田カウント出来るとことになった)

生産調整への参加は罰則もなくなり、より自由となり米余りの心配はある。魚沼コシヒカリといえども米価の下落はある。せめて、2万円は確保したい。政策のほぼ概要が見えてきたが、詳細が分かりしだい、今まで以上にJAと連携協力し、農家所得が落ちることの無いように対応する。

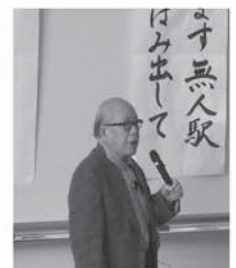
レポ
ジ
ク
ス

10/20 大崎火渡り大祭



10/30~11/15 浦佐菊まつり

11/15 びしゃもん市
感謝の小さな祭り



11/22 講演会
90歳金子兜太先生

12月議会概要(8日~18日)

★ 市長所信表明



- 10月に大原運動公園(野球場建設)整備検討委員会を立上げる。市民の声を聞きながら、来年の4月頃をメドに方向を決める。(図書館建設も同じ)
- 大河ドラマ「天地人」と「トキめき新潟国体」の二大イベントが、大成功の内に終わった。この市民挙げての取組みを市の将来の発展につなげる。
- 「小千谷縮・越後上布」が、ユネスコに世界の無形文化遺産として登録された。日頃の精進の賜であり、関係各位に敬意と感謝を表す。
- 昨年来より、景気対策として雇用及び資金繰りに取組んできたところだが、いまだ先は見えず、今後も景気回復に全力をそそぐ。
- 鳩山内閣が発足し3ヶ月が過ぎようとしている。新内閣は「地域のことは、地域が決める」と掲げており、地方分権改革が進むことを期待している。

★ 21年度一般会計補正予算 10億円可決～総額 334億円に

小学校耐震補強事業(大崎小、藪神小、五日町小、塩沢小)に5億円、全小中学校での工事ほぼ終る。県内で全て終ったのは当市のみ。五十沢統合小学校に5億円。

★ 議会発議で「地域医療対策調査特別委員会」の設置が決まり委員が選任される

今年度中に基幹病院の概要が示されるが、この医師不足の中、医師が集まるのだろうか一末の不安をかかえている。この特別委員会は、院長先生や先生方の応援団的な存在になればと思う……。

委員長・松原良道、副委員長・林茂男、委員・関常幸・山田勝・岡村雅夫・寺口友彦・笠原喜一郎

★ 「思川斎場」平成22年10月新装なる

10月1日供用開始を目指し工事が進んでおり、それに合わせて斎場条例が全部改定となる。今度の斎場は小動物専用の火葬炉を備えている。運営は指定管理者(民間)で行なうことを条例で規定。

★ 「愛プロジェクト」推進基金条例制定

1月オープンの「愛・天地人博」は、計画の倍43万人を越える入館があり、収益金として1億円見込めるので、次年度以降の観光振興に基金(3,000万円)を積立てた。

★ 「愛・天地人博」から「戦国EXPO」へ

天地人博は12月27日で終了し、JA米倉庫は22年度末には取り壊されますが、4月11日から11月28日まで装いを新たにオープンします。

★ 野球場建設、一般質問で市長と白熱した議論が展開

夢、誘客、教育、スポーツ、財政、自然、経過等総合的に勘案し私は必要と判断。



12/1 長島代議士を応援する会
小林幸子駆けつける

12/6 後山秋ごと
そば試食会



12/12 田邊克爾氏
叙勲を祝う会

12/23 若井議長
就任祝賀会



かわら版(ミニ情報)

★ 毘沙門天王



毘沙門堂の大手門の入り口に、何故か「多聞天王」と命名されている。毘沙門とは梵語で多聞と訳される。七福神では毘沙門天と言い、戦いの神とされ、正義の味方善神とされる。仏教における毘沙門天は四天王の一人とされ、多聞天王と言われる。北方を守護し財宝富貴を司る守護神。(四天王は、東方の持国天王、南方の増長天王、西方の広目天王)



毘沙門天が撒与する「福」に授かろうと押し合う裸衆

3月3日は一年に一回の「毘沙門天」のご開帳。我先に参拝しようと水行し押合う「裸押し合大祭」は、魚沼に春を呼ぶ日本三大奇祭だ。1月も半ばになると浦佐の男緒は、祭りモードになり、仕事が手につかなくなる。熱く熱く燃えて、この不景気を吹っ飛ばそう。

★ 賽の神祭り



冬のイベントに育てようと1月10日の日曜日、浦佐地域づくり協議会(会長上村守大区長)主催で、賽の神が行なわれた。区長さんを中心に前日から会場班、祭り班、調理班と分かれて準備をする。計画が決まったのが12月になってからなので、各区民への周知も含め何人来てくれるのか不安であった……。

子どもへのプレゼント菓子200個、甘酒、お汁粉は200人分くらい用意する。テント3張り建て、綿アメの機械と御神酒も準備し来場者を待った。私は綿アメの担当で、10時から12時まで休む間もなく綿アメ作りをした。大勢の方からお出でいただく。会場では年始の挨拶をしたり、住民の交流の輪が広がり大盛会のうちに終了した。区長さんの奥様大変ご苦労様でした。

★ 大和商工会賀詞交歓会



今年で3回目となる賀詞交歓会。この不景気を吹き飛ばそうと、昨年を上回る130人からの参加があり、会場は熱気で溢れていた。今年も女性(奥様)の参加が多く華やかな会となる。

1部はキングレコード所属「葉月みなみ」歌謡ショー。聞くのは2回目だが本当に上手い。2部は交歓会。2部でもアンコールがかかり葉月ショーのよう。

皆さん、紙面が変わったのお分りでしょうか……。見づらい、読みづらい。そう言わないで「開常幸議会議会報告」かわいがって下さい。常蔵に「事業仕分け」が入り？手作りとしました。印刷は、いんぼんさんです。そして毎月発行のかわら版も、議会議報を発行する1月・四月・七月・十月は議会議報と兼ねます。私のホームページもご覧下さい。ヤフー関連で検索下さい。

編集後記

お母さんが茗荷沢の出身。皆で応援しよう。

